

世界の計画と感度範囲

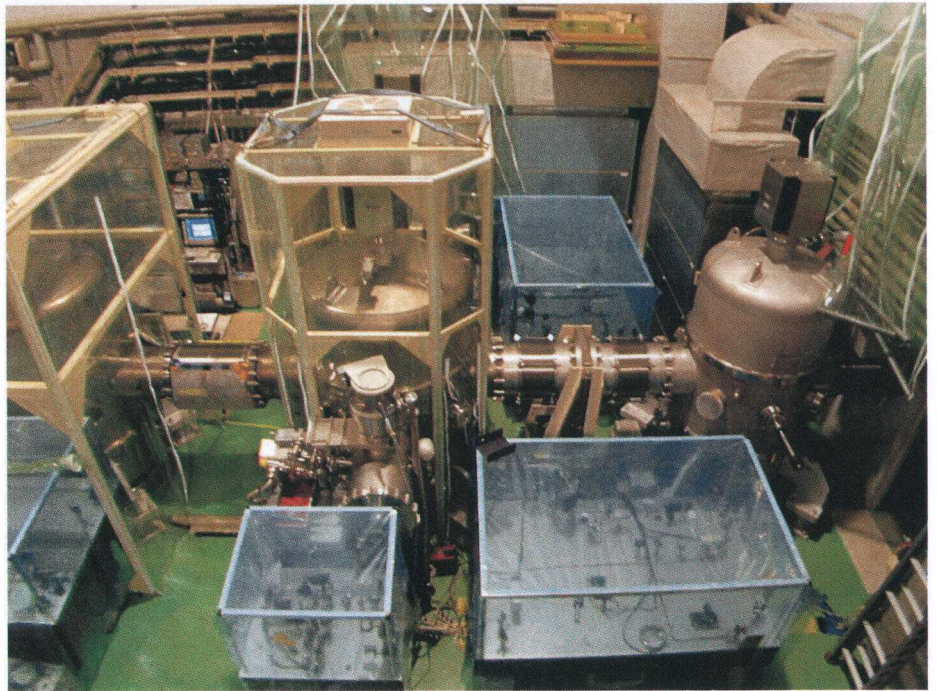
太陽質量の1.4倍の質量の中性子星連星が合体する際に放出される重力波をターゲットとした場合、世界で計画されている幾つかの検出器で捉えられる距離範囲を示して比較した。

(本文「LCGT ー低温重力波望遠鏡計画ー」472ページ参照)

特集：重力波天文学



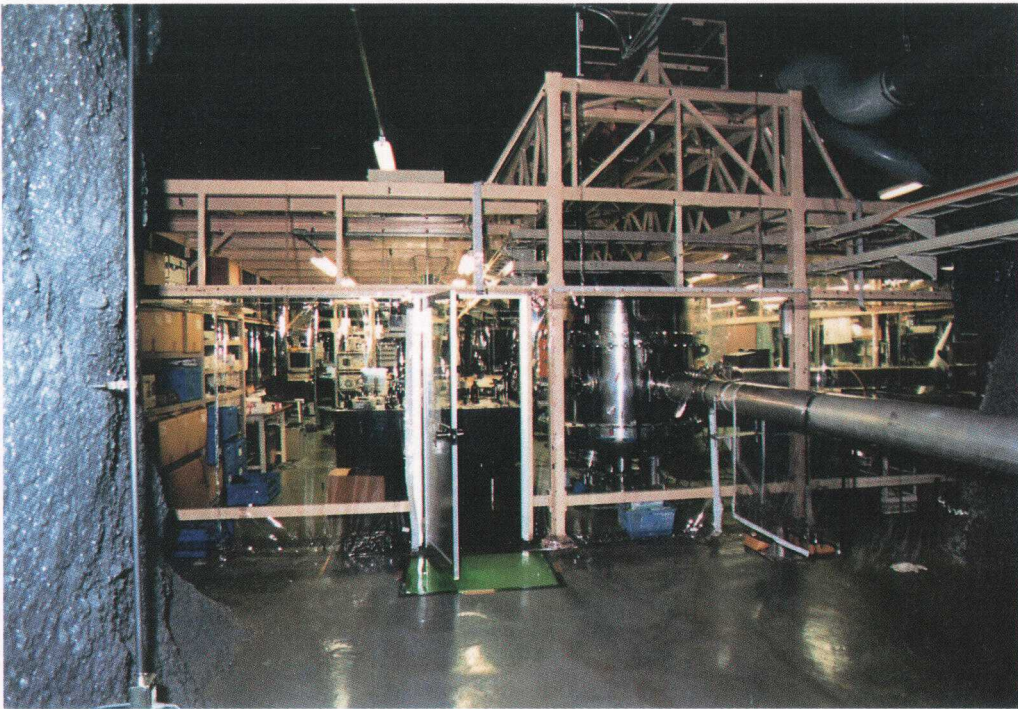
TAMA300 のある国立天文台。キャンパス全景



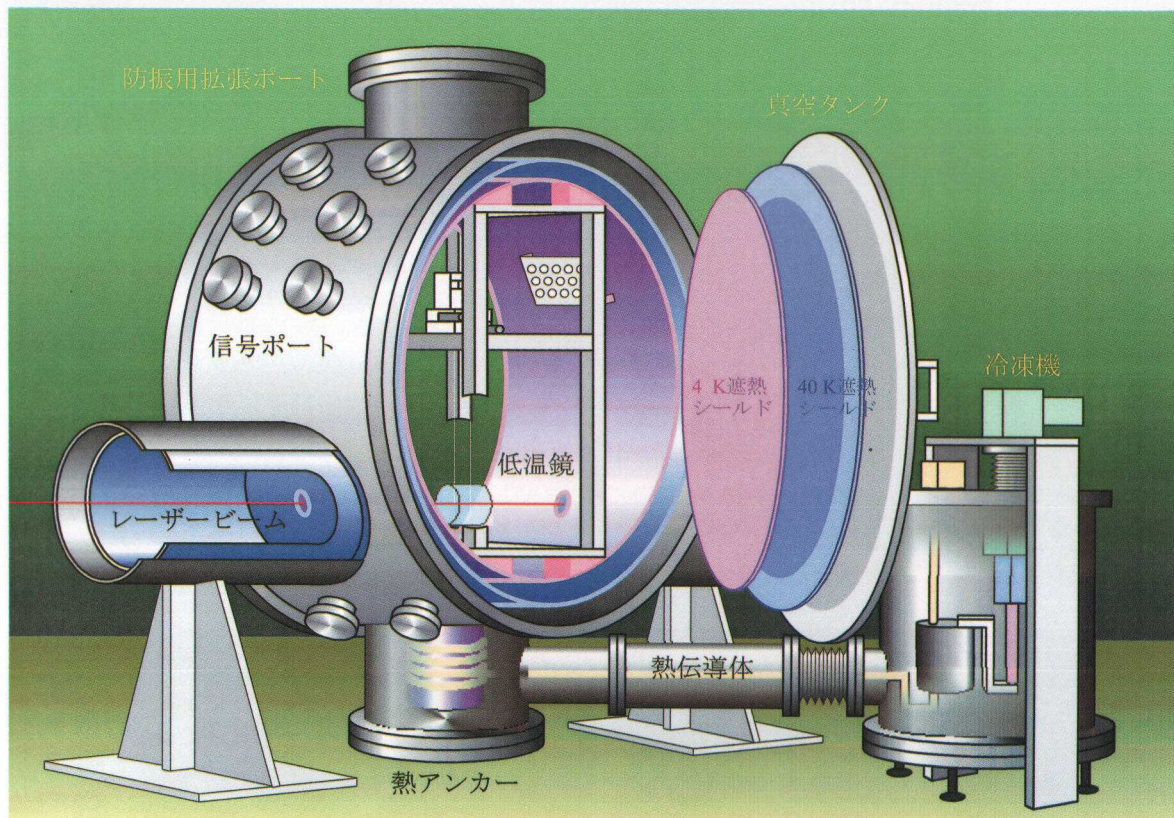
TAMA300 センタールーム



TAMA300 の制御コンソール



神岡トンネル内に設置された 20 m レーザー干渉計



低温鏡の概念

吊るされた鏡は、防振装置を介して設置され、鏡の周囲は2重の熱放射遮蔽板で覆われている。室温の真空ダクト部分から冷却部分までの10 m以上の長さにわたって熱放射遮蔽が施される。鏡で発生する熱は熱伝導により逃がされる。

(本文「LCGT -低温重力波望遠鏡計画-」475 ページ参照)